

ITを地域に活かす

—安全・安心・元気なまちづくり—

「IT(情報通信技術)を活かして安全・安心・元気な地域をつくれないか」——。

本シンポジウムでは、高度情報社会の現在、身近になったITを市民生活のなかで活用する具体策を考えます。IT社会では光と陰の両面がありますが、ひとたび災害が起きると、威力を発揮するという実例も報告されています。ITを活かした人にやさしいまちづくり、また、ひとを元気にするITの活かし方を考えるには、いま何が必要か。市民や行政、産業、そして大学の役割は何なのかについて討論します。このシンポジウムが、市民生活に役立つIT社会の実現へ何らかの提言ができれば、と考え開催いたします。

日時 **2007年1月13日(土)**
13:30~16:30

場所 **(大阪駅前)ハービスHALL**

定員
500名
参加費
無料

基調講演

北川 正恭 氏

(早稲田大学大学院教授、前 三重県知事)

1944年三重県生まれ。72年三重県議会議員当選(3期連続)、83年衆議院議員当選(4期連続)。任期中、文部政務次官を務める。95年三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。現在、早稲田大学大学院公共経営研究科教授、「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)代表。



パネルディスカッション

[パネリスト]

桑原 眞二 氏 (NPO法人ながおか生活情報交流ねっと理事長)

竹中 ナミ 氏 (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長)

島田 達巳 (摂南大学 経営情報学部長・教授)

松永 公廣 (摂南大学 経営情報学部教授)

※お申し込み方法およびお申し込み先は、このチラシの裏面をご覧ください。

新しい理念(四位一体〈学生、保護者、卒業生、教職員〉)のもと、摂南大学は大きく変わります!!

主催：摂南大学 朝日新聞社

朝日・大学パートナーズシンポジウム

ITを地域に活かす

— 安全・安心・元気なまちづくり —

■ お申し込み方法

FAX、Eメール、ハガキのいずれかにより、12月20日（水）必着で、「朝日・大学パートナーズシンポジウム」参加希望とご明記いただき、住所、氏名、電話番号、参加人数をお書き添えのうえお申し込み願います。応募者多数の場合は抽選させていただきます。（聴講券の発送をもって発表にかえさせていただきます。聴講券は12月中にお届けいたします）

ハガキの書き方

50円切手 郵便はがき 572-8508	大阪府 寝屋川市池田中町17番8号 摂南大学 朝日・大学パートナーズ シンポジウム事務局宛	郵便番号 ご住所 お名前 電話番号 参加希望人数 をお書きください。
(表)		(裏)

■ 会場へのご案内



ハービスHALL

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2F
TEL 06-6343-7800

■ お申し込み先

摂南大学 朝日・大学パートナーズシンポジウム事務局

- FAXの場合 FAX番号072-838-6631
- Eメールの場合 メールアドレス sympo@kjo.setsunan.ac.jp
- ハガキの場合 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17番8号

各ターミナルとも地下で連絡。

■最寄り駅（徒歩）

【阪神梅田駅（西改札）】	徒歩	約3分
【JR大阪駅（桜橋口）】	徒歩	約5分
【JR東西線北新地駅（西改札）】	徒歩	約6分
【地下鉄四つ橋線西梅田駅（北改札）】	徒歩	約5分
【地下鉄御堂筋線梅田駅（南改札）】	徒歩	約8分
【地下鉄谷町線東梅田駅（北改札）】	徒歩	約9分
【阪急梅田駅】	徒歩	約15分

FAX送信先 072-838-6631

このまま、切り取らず
送信してください。

朝日・大学パートナーズシンポジウム参加申込書

フリガナ		参加希望人数
お名前		人
ご住所	〒	
電話番号		

※個人情報保護法により、ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムにおける事務処理および事業目的の範囲以内でのみ利用することとし、第三者に提供することはありません。
※テーマ、基調講演者、パネリストなどは、事情によって変更することがあります。

主催：摂南大学 朝日新聞社